

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

じぶんの町を  
良くする会議



第15回  
赤い羽根全国ミーティング

in あわじ



2026 7/9<sup>木</sup>-10<sup>金</sup>

会場 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場  
兵庫県淡路市夢舞台1番地

主催 ● 第15回赤い羽根全国ミーティング in あわじ実行委員会 社会福祉法人 兵庫県共同募金会 社会福祉法人 中央共同募金会  
共催(予定) ● 社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

第15回  
赤い羽根全国ミーティング

## in あわじ



## 趣旨

赤い羽根全国ミーティングは、共同募金運動に携わる関係者が集い、地域福祉を推進するための共同募金の役割や可能性について話し合い、地域共生社会の実現につなげることを目的として開催しています。

また、令和8年度で共同募金は80回目の運動を迎えます。今回のミーティングは、共同募金80周年記念の一環として開催することとし、共同募金のこれまでを振り返るとともに、地域福祉の現状といま共同募金に求められているものについて、開催地である淡路島を中心とした兵庫県内や全国の取り組みを共有しながら、参加者による対話を通して考えます。

**主催** 第15回赤い羽根全国ミーティング in あわじ実行委員会  
社会福祉法人 兵庫県共同募金会  
社会福祉法人 中央共同募金会

**共催** (予定) 社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

**協力** 兵庫県内各市区町社会福祉協議会

**期日** 2026年7月9日(木)～10日(金)

**会場** 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場  
〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台1番地  
TEL: 0799-74-1020 FAX: 0799-74-1021

[交通アクセス]  
<https://www.yumebutai.co.jp/access/>



- 参加対象**
- ① 市区町村共同募金委員会役職員・委員等
  - ② 都道府県共同募金会役職員・委員等
  - ③ 市区町村社会福祉協議会関係者
  - ④ 都道府県社会福祉協議会関係者
  - ⑤ 共同募金への募金等協力団体、共同募金の助成を受けた活動団体
  - ⑥ その他共同募金に関心のある方

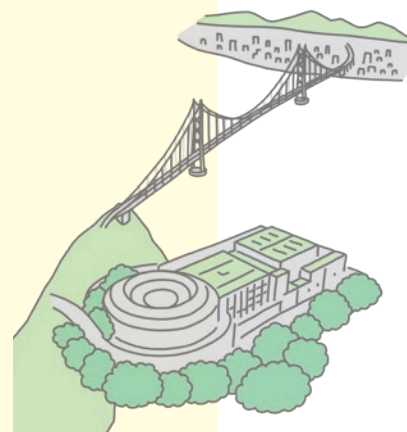
**参加定員** 400名(予定)

**参加費** 6,000円 ※情報交換会参加の場合別途7,000円

**参加申込** 以下の参加申込サイトよりお申し込みください。  
<https://www.mwt-mice.com/events/hane2026>  
◎ **6月8日(月) 17時 受付締切** となります。



※ 申込方法の詳細は参加申込サイトのトップページに記載しております。  
参加申込についてご不明な点がございましたら、  
p.① お問合せ先の名鉄観光サービス株式会社神戸支店までご連絡ください。





## プログラム

7/9<sup>木</sup>

13:00 ~ 15:30	150分	<b>全体会</b>
<13:00 ~ 13:15>	15分	オープニング [主催者あいさつ・オリエンテーション]
<13:15 ~ 15:30>	135分	<b>第1部 80周年記念トーク</b> 地域福祉の現在と共同募金に求められるもの <b>第2部 全員参加企画</b> 共同募金の存在意義 (パーパス) って何だろう? <b>第3部 開催地からの発信</b> あわじで考える 赤い羽根の可能性

15:30 ~ 15:45 15分 移動・休憩

15:45 ~ 17:45	120分	<b>分科会</b>
1		社協ワーカーとして共同募金に取り組もう ～社協にとっての共同募金の価値～
2		企業と連携して進める共同募金運動 ～募金担当者と協力者双方の熱量を高める秘訣を探る～
3		ストーリー設計で共感を生む共同募金の広報 ～“点”を“線”にして心を動かす伝え方～
4		新任さん集合! 共同募金業務の楽しさと魅力を考える ～明日から実践できるアイデアをお土産にしよう～

17:45 ~ 18:30 45分 移動・休憩

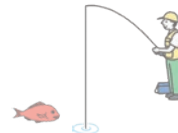
18:30 ~ 20:30 120分 **情報交換会**

7/10<sup>金</sup>

9:30 ~ 11:30	120分	<b>分科会</b>
5		資金循環を生み出す助成のあり方 ～助成によって活動団体を元気にしよう～
6		若い人も参加したくなる募金活動のこれから ～大切に、大胆に! 時代に合わせた“仲間づくり”へのチャレンジ～
7		<b>80周年記念企画</b> これまでの歩みを振り返り、共同募金を未来へつなげよう ～みんなで考えよう 伝わる言葉～
8		キャラクターを活用して戦略的に広報しよう ～“赤羽根家”と“あかはねちゃん”で広げる発信の工夫～

11:30 ~ 11:40 10分 移動・休憩

11:40 ~ 12:30	50分	<b>全体会</b>
		80回目の運動に向けて ～各分科会のキーワードから～
12:30		閉会



7/9(木) 1日目 13:00 ~ 15:30 (150分)

## 全体会

### ■ オープニング 13:00 ~ 13:15 (15分)

**主催者あいさつ** 村木 厚子 (中央共同募金会 会長) 前田 公幸 (兵庫県共同募金会 会長)

### オリエンテーション

### 第1部 80周年記念トーク 13:15 ~ 14:25 (70分)

## 地域福祉の現在と共同募金に求められるもの

- いま地域では、生活困窮、孤独・孤立、身寄りのない人の課題、などの地域生活課題が多様化・複合化しており、それらの課題を解決するために、制度による福祉サービスに加えて、制度外の多様な民間支援活動が展開されています。
- そうした中、共同募金は今年で80回目の運動を迎えます。1947年の運動開始以来、共同募金は、社会福祉施設の支援、社会福祉協議会の組織化、多様な当事者団体やボランティア活動の支援、被災者支援など、その時代で必要とされる福祉活動を応援してきました。
- ここでは、地域福祉の現在を踏まえて、いま共同募金による支援が求められているものが何なのか、助成を受けて活動する立場、寄付や社会貢献活動を行う企業の立場、共同募金を推進する立場など、それぞれの立場から今日的な共同募金運動のあり方について考えます。

**【登壇者】** 中島 かおりさん (認定NPO法人ピッコラーレ 代表)  
外間 孝次さん (一般財団法人H2Oサンタ 事務局長、エイチ・ツー・オー リテイリング (株) 経営企画グループ)  
猪俣 健一さん (大阪府阪南市社会福祉協議会 事務局次長)  
村木 厚子 (中央共同募金会 会長)

### 第2部 全員参加企画 14:25 ~ 14:40 (15分)

## 共同募金の存在意義 (パーパス) って何だろう？

- 中央共同募金会では、80周年記念事業として「共同募金の存在意義 (パーパス) 案」の策定を進めています。
- ここでは、共同募金の存在意義 (パーパス) を策定する意図について共有し、参加者それぞれが考える共同募金に関わるうえで大事にしたいこと (共同募金の価値 (バリュー)) を会場で共有します。

**【登壇者】** 窄口 真吾さん ((株) エスフェクト 代表取締役、パーパスワーキング委員)  
猪俣 健一さん (大阪・阪南市社会福祉協議会 事務局次長、パーパスワーキング委員)  
秋貞 由美子 (中央共同募金会 事務局長、広報・募金推進室長)



7/9(木) 1日目 13:00～15:30 (150分)

## 全体会

**第3部 開催地からの発信** 14:40～15:30 (50分)

### あわじで考える 赤い羽根の可能性

- 共同募金は、地域住民の協力による募金活動と、住民が主体となった地域福祉活動をつなぐ、地域での資金循環の仕組みという特徴を持っています。
- 今回のミーティングの開催地である淡路島では、小地域での支えあいによる地域づくりが活発に行われている地域であり、そうした地域ごとの特色ある地域活動を共同募金が支えています。
- ここでは、淡路島における地域活動と共同募金運動の実践事例を通じて、共同募金がこれまで果たしてきた役割とこれからの可能性について考えます。

**【登壇者】** 上野谷 加代子さん (同志社大学 名誉教授)  
宮内 良樹さん (全国社会福祉協議会 地域福祉部長)

#### 〈地域活動の事例〉

凧 保憲さん (淡路市共同募金委員会 事務局長)  
別府 一樹さん (認定NPO法人トウギャザー 理事長・事務局長)  
城田 知志さん (洲本市共同募金委員会 事務局長)  
平見 明子さん (南あわじ市共同募金委員会 事務局長)  
ほか調整中





7/9(木) 1日目

15:45～17:45 (120分)

## 分科会

分科会  
1

### 社協ワーカーとして共同募金に取り組もう ～社協にとっての共同募金の価値～

共同募金の担当として孤独を感じる瞬間はありませんか？前任者がやってきたことをルーティン業務としてこなしていませんか？

そもそも社協がなぜ共同募金運動に取り組むのか、地域福祉実践としての共同募金の役割・価値は何なのか、運動の趣旨を踏まえた主体的な運動推進とは？この分科会では、共同募金ももつ運動性や参加性、楽しさを活かして、地域福祉を活性化する方法を探ります。参加することで、あなた自身の考えや社協の仕事をアップデートするきっかけを見つけられるはず!?

【講師】 藤井 博志さん(関西学院大学) 柳田 千穂さん(栃木県野木町支会)  
篤田 梨沙さん(兵庫県尼崎市共同募金委員会) 土居 尚美さん(兵庫県淡路市共同募金委員会)

主な  
対象

- 共同募金の仕事に楽しさを見出したい担当者
- 社協にとっての共同募金の役割や価値を確認したいと思っている職員

ねらい  
ゴール

- 共同募金を考えることで社協の仕事をアップデートするきっかけを見つける
- 共同募金の仕事を楽しみながら、組織が一丸となって運動に取り組めるようにする

分科会  
2

### 企業と連携して進める共同募金運動 ～募金担当者と協力者双方の熱量を高める秘訣を探る～

世帯の減少に伴い戸別募金は年々減少。法人募金や寄付つき商品(例：募金百貨店)への協力を増やしていきたいけれど、地域や企業の事業者とはあまり繋がりが無い…一人で考えるにも限界が…。 “寄付つき商品”に取り組む企業の本音を探り、明日からできる実践を考えます。

【講師】 仲野 晶太さん(味心 晶) 多田 健造さん(淡路島氷菓 ICE-UP)  
城田 知志さん(兵庫県洲本市共同募金委員会) ほか調整中

主な  
対象

- 戸別募金の減少に頭を抱える担当者
- 地域や企業へのアプローチに悩んでいる担当者
- 企業(協力者)の本音を聞いてみたい方(どう思ってるの?)
- 明日からできる協働のアイデアを一緒に考えたい方

ねらい  
ゴール

- 明日からできる企業への具体的なアプローチ方法を考える
- 県域を超えた担当者の横のつながりを広げる
- 共同募金の仕事への熱量を高める
- 一人でも多くの地域住民を巻き込むアイデアをみんなで考える(地域福祉活動との循環を意識する)





7/9(木) 1日目 15:45～17:45 (120分)

## 分科会

分科会  
3

### ストーリー設計で共感を生む共同募金の広報 ～“点”を“線”にして心を動かす伝え方～

共同募金の広報を、「依頼」と「報告」という“点”だけで終わらせていませんか。本分科会では、“点”を“線”でつなぎ可視化する「ストーリー設計」の視点を学びます。助成先の声を活用し、助成を必要とする理由から使いみち（活動内容）、成果までを一連の流れとして伝えるとともに、「はねっと」との連動も含め、「共感を生む」広報のあり方を考えます。

【講師】 石見 映理さん（京都府久御山町社会福祉協議会） 横田 多栄さん（兵庫県上郡町共同募金委員会）  
窄口 真吾さん（株式会社エスフェクト）



主な  
対象

- 広報が「依頼」と「報告」だけになっていると感じている担当者
- もっと「伝わる」広報へステップアップしたいと考えている担当者



ねらい  
ゴール

- ストーリー設計の視点を学び、自分の地域の広報に落とし込むヒントを見つける
- 助成先の声を活用し、「伝わる」を意識した広報で共感につなげられるようになる

分科会  
4

### 新任さん集合！共同募金業務の楽しさと魅力を考える ～明日から実践できるアイデアをお土産にしよう～

都道府県共同募金会、市区町村共同募金委員会の新任担当者へ向けて、先輩担当者が担当になった当初の気持ちやエピソード、いま力を入れている仕事、共同募金業務のやりがいや楽しさ、魅力について語ります。

また、日ごろ感じている悩みやちょっとした疑問を共有し、優しい先輩や同じ立場の全国の仲間とアイデアを出し合いながら一緒に考え、前向きに解消していきます。

【講師】 田村 萌絵さん（兵庫県新温泉町共同募金委員会） 濱上 菜々花さん（兵庫県明石市共同募金委員会）  
佐田 友紀さん（兵庫県神戸市中央区共同募金委員会） ほか調整中



主な  
対象

- 共同募金の仕事をもっと楽しみたい担当者（3年目ぐらいまでを対象）



ねらい  
ゴール

- 共同募金業務のやりがい、楽しさを共有する
- 明日から実践できる知識やアイデアを持ち帰る

7/9(木) 1日目 18:30～20:30 (120分)

## 情報交換会

全国からの参加者や講師と知り合い話し合い交流しましょう。（会場内にて開催）



7/10 (金) 2日目 9:30～11:30 (120分)

## 分科会

分科会  
5

### 資金循環を生み出す助成のあり方

～助成によって活動団体を元気にしよう～

助成先の団体に、共同募金のお金を有効に活用してほしいと願いながらも、毎年決まった団体に定額の助成を続けてしまっていないですか？

この分科会では、共同募金のお金を新たに必要としている団体を見つけ、つながる方法や、定例的に続けている助成を活動の充実につながるものに変える方法、助成先の団体が自ら共同募金による活動の成果を寄付者に伝えてくれることで地域での資金循環につながる助成のあり方について考えます。

【講師】 堤崎 正人さん（栃木県佐野市支会） 凧 保憲さん（兵庫県淡路市共同募金委員会）  
古賀 桃子さん（ふくおかNPOセンター）

主な  
対象

- 助成のことで悩みを持っている担当者
- 助成先の活動を活性化したい担当者

ねらい・  
ゴール

- 共同募金の新たな助成先を見つける
- 助成を通じて、団体の活動をステップアップさせる方法を見つける

分科会  
6

### 若い人も参加したくなる募金活動のこれから

～大切に、大胆に！時代に合わせた“仲間づくり”へのチャレンジ～

若い人をはじめ、より多くの住民に共同募金の意義や魅力を知ってもらうため、スポーツを中心にした協働の取り組みから学びます。また、スポーツにとどまらず、多様な地域資源を活かした福祉学習や居場所づくりなど、“プラスα”の広がりを生み出す視点を身につけます。こうした学びを通して、地域に新たな仲間を増やし、住民参加による地域づくりの実践につなげていきます。

【講師】 山口 浩次さん（龍谷大学） 出崎 晴菜さん（兵庫県神戸市須磨区共同募金委員会）  
松下 みどり（兵庫県共同募金会） スポーツチーム担当者（調整中）

主な  
対象

- 若い人を中心に新たな仲間（協力者）を増やすヒントを、スポーツ事例を含む多様な取り組みから学びたいあなた
- 共同募金を通じて生まれた地域活動や福祉学習のストーリーを、もっと多くの人に届けたいあなた

ねらい・  
ゴール

- 地域の若い世代とつながるためのわが町ならではの“仲間づくり”にチャレンジする
- これまでのアナログな手法も大切しつつ、時代に合わせた新たな協働のカタチを生み出す
- 共同募金の意義や魅力を届ける多様な媒体・発信について学び、『募金したくなる／参加したくなる／活動したくなる』ための実践を継続する





7/10(金) 2日目 9:30～11:30 (120分)

## 分科会

分科会  
7

80周年記念企画

### これまでの歩みを振り返り、 共同募金を未来へつなげよう ～みんなで考えよう 伝わる言葉～

共同募金運動80年の歩みを振り返り、歴史や大切にしてきた想いを改めて共有します。そして、兵庫県共同募金会が策定する「ひょうご共同募金運動推進2030年計画」を題材にして、共同募金を未来へつなげるための持続可能な取り組みや、次世代に伝えていくためのヒントについて、事例をもとに学びます。

さらに、私たちはこれから「何を」伝えれば地域住民の参加と協力を生み出せるのか、参加者同士でアイデアを出し合いながら考えます。

**【講師】** 一柳 大輔さん(高崎健康福祉大学) 音川 礼子さん(兵庫県西宮市共同募金会)  
馬場 正一(兵庫県共同募金会) 阿部 陽一郎(中央共同募金会)

主な  
対象

- 「共同募金のこれまでとこれから」を一緒に考えたい方
- 地域住民に参加を呼びかける言葉を見つけたい担当者

ねらい・  
ゴール

- 共同募金の歴史、意義を学ぶ
- 地域住民の参加と協力を呼びかける言葉とその伝え方について考える

分科会  
8

### キャラクターを活用して戦略的に広報しよう ～“赤羽根家”と“あかはねちゃん”で広げる発信の工夫～

キャラクターを“なんとなく”使っていませんか？

本分科会では“赤羽根家”や“あかはねちゃん”などを題材に、既存キャラクターを活かして広報の効果を高める具体的な手法として、若い世代へのアプローチや発信の工夫、場面に応じた見せ方のポイントなどを学びます。

また、著作権の基本など、キャラクターを安全かつ戦略的に活用するための実践的な広報の考え方を理解します。

**【講師】** 下室 友香さん(新潟県長岡市共同募金委員会) 窄口 真吾さん(株式会社エスフェクト)  
吉田 真悠子(兵庫県共同募金会) ほか調整中

主な  
対象

- キャラクターを活かしきれていないと感じている担当者
- 著作権や素材利用に関して不安があり、正しく運用したい担当者

ねらい・  
ゴール

- “赤羽根家”や“あかはねちゃん”、自分の地域のキャラクターを自分の“推し”にする
- キャラクターを“なんとなく使う”から“戦略的に使う”へ発想を転換し、効果的な広報につなげる



7/10 金 2日目 11:40～12:30 (50分)

## 全体会

### 80回目の運動に向けて ～各分科会のキーワードから～

1日目、2日目の分科会で出たキーワードをもとに、80回目の共同募金運動に向けた新しい取り組みのヒントを持ち帰ります。

## 閉会

### 第15回 赤い羽根全国ミーティング in あわじ 実行委員会 実行委員

凧 保憲 (淡路市共同募金委員会)	中島 晋 (神河町共同募金委員会)
土居 尚美 (淡路市共同募金委員会)	窄口 真吾 (株式会社エスフェクト)
城田 知志 (洲本市共同募金委員会)	多田 健造 (淡路島氷菓 ICE-UP)
東 佑樹 (洲本市共同募金委員会)	松本 裕一 (兵庫県社会福祉協議会)
平見 明子 (南あわじ市共同募金委員会)	玉置 隼人 (全国社会福祉協議会)
奥本 洋志 (南あわじ市共同募金委員会)	馬場 正一 (兵庫県共同募金会)
有森 孝輔 (神戸市共同募金委員会)	秋貞 由美子 (中央共同募金会)
篤田 梨沙 (尼崎市共同募金委員会)	



## お問合せ先

### ■ 参加申込みについて

名鉄観光サービス株式会社 神戸支店 (担当：二宮、北岡、磯野)

〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町121 神戸伊藤町ビルディング2階  
TEL: 078-321-5005

受付時間 月～金 10:00～17:00 土日祝日休業

Eメール hane2026-kobe@mwt.co.jp

### ■ ミーティングの企画内容について

社会福祉法人 中央共同募金会 総務企画部 (担当：青柳、城、笈川)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階  
TEL: 03-3581-3846 FAX: 03-3581-5755

受付時間 月～金 9:30～17:30 土日祝日休業

Eメール kikaku@c.akaihane.or.jp